

あけましておめでとうございます。

昨年6月には、福島県松川町『おおつき庵』でJGAS総会・作品展を開催しました。

残念ながらおおつき庵は令和2年2月29日に閉廊されるということ、みなさん既にご存知のことと思います。閉廊のお知らせを、以下に掲載させていただきます。

有限会社おおつき画廊 令和2年2月29日 閉廊のお知らせ

日増しに寒さが厳しくなってきました。

貴方様には、お変わりなく 益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、これまで長年に亘り、おおつき画廊への、数々のご支援を賜りました事に心から厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、平成3年3月有限会社おおつき画廊を起業してまもなく30年の歳月が経とうとしております。

わたくしは、昭和33年3月株式会社中合様に入社、婦人服のオーダー部門3年、外商部門12年、駅前移転に際し高級呉服部門1年9ヶ月、美術サロン、時計貴金属部門14年9ヶ月、通信販売部1年2ヶ月、通算33年の勉強をさせて頂きました。

福島文化の幕開けともいえる福島県立美術館のオープンもありました。縁があつて画廊の開設を考えたとき、国内の心惹かれる作家、福島にぜひご紹介したい作家を探し訪ねて、作品のご紹介をするのが私に課せられた使命と、自分に誓い画廊の開設を決意しました。

仕事の目標は、33年間中合様で学んだ、お客様、作家、おおつき画廊の「三方良し」を念じてまいりました。

平成3年5月8日開廊、第1回展を、齋藤清木版画と宗形亮一陶芸展で開催致しました。その後、令和2年1月29日～2月9日の「たどり着いた浄法寺漆器展」をもって672回の最終作品展の開催となります。

絵画、陶芸、漆芸、ガラス工芸、彫刻、染色、市松人形等、作家、産地を訪ね、しっかりとお話を聞き、仕事を見せて頂きました。その中で是非福島の皆様、作家をお招きし、皆様にお会いして頂きたい。この思いに至った作家の方々にご来福をお願いして、作品のご紹介をしてまいりました

令和2年2月22日80歳を迎える私の体力にも年相応に衰えがやってきました。無理をして後の始末ができない事になっては、これまでの仕事が水泡と帰すと考えました。

80歳を期に、少しの元気をあとに残しながら、これまで皆様に支えて頂きました有限会社おおつき画廊の活動を令和2年2月29日をもって締めくくります。皆様のご厚情と長年にわたるご支援を賜りました事に改めて心から感謝申し上げます。

令和元年11月20日

有限会社 おおつき画廊

代表取締役 大槻 一夫

〒960-1231 福島市松川町沼袋字北原88番地の2

TEL・FAX：024-567-6033